

今回のインタビューは、海田警察署長の貞安和則さんをお願いしました。貞安署長には、就任に当たっての抱負や意気込み、地域住民の方々の安心・安全に対する取組みについて熱く語っていただきました。

聞き手／多田雄一 委員



地域の目線で安全と安心感を

海田警察署長 貞安 和則さん
さだ やす かず のり

海田警察署長になられての感想などお聞かせください。

歴

史と伝統のある署の署長に任命され、大変名譽に思うと同時に責任も感じています。

海田地区の現状はいかがですか。

女

性を対象にしたわいせつ事件や、ひったくりなどが発生しており、住民の治安に対する不安は払拭されていらないと思います。また、幹線道路が二本通っており、交通事故も死亡事故は減少していますが、多発しているのが現状です。

今後の対策はいかがですか。

ま

ず、交通事故対策として昨年「海田セーフティガード365」と銘打って、三百六十五日連続して事故多発交差点などで指導取締りを実施しており、一定の成果が出ています。また、交番の警察官のパトロールや交通指導取締りを、犯罪や事故の多発時間にシフトして、街頭警察活動を強化しています。



海田駅前交番に「女性安全ステーション」が設置されたとお聞きしましたが。

は

い。地域住民に一番身近な交番に女性警察官を配置し、DVやストーカーなどの犯罪被害はもちろん、悩み事でも安心して相談していただければと思います。

ひまわりの会の行事などに参加していただいています。地域との連携についてはどうお考えですか。

地

域の安全は地域で守るという住民の皆さんの意識を醸成し、自主防犯活動の定着と活性化を図るための情報発信、研修会の開催、ネットワーク化などの支援活動を計画しています。今後も地域住民との協働、連携を一層強めていきたいと考えています。

今後の警察活動について抱負をお聞かせください。

住

民の皆さまから信頼される警察を目指して、「力」「判断」「思いやり」の三つのバランスをとっていくことが大切であると考えています。

これからも安心、安全な海田町の実現に努力していきますので、町民の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

安心・安全は町民の願いですからね。議会としても今まで以上の協力をしていきます。本日はお忙しいところ本当にありがとうございました。